

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【PNI】

- 英 Prognostic Nutritional index
- 和 予後栄養指数
- 略 PNI

〈解説〉

PNIは主に外科領域で提唱され、複数の栄養指標を組み合わせることで栄養状態を客観的に表す指標である。周術期患者の Nutritional Index (NI) として術後合併症発生率や回復状態を予測する際に用いられる。

PNIの中で最も簡便な小野寺らの計算式は栄養サポートチーム (Nutrition Support Team : NST) の普及と共に使用され、特に高齢者の栄養管理においては臨床的に有用であるとされている。

代表的な計算式

- ①小野寺式 (Onodera-PNI ; O-PNI) 消化器がん患者に対する予後予測指数¹⁾

$$\text{PNI} = (10 \times \text{Alb}) + (0.005 \times \text{TLC})$$

※Alb : 血清アルブミン (g/dl), TLC : 総リンパ球数 (/mm³),

40未満ではリスクが大きいと判定する。

- ②Buzby らの式 化器手術の予後栄養指標²⁾

$$\text{PNI} = 158 - (16.6 \times \text{Alb}) - (0.78 \times \text{TSF}) - (0.22 \times \text{TFN}) - (5.8 \times \text{DCH})$$

※Alb : 血清アルブミン (g/dl)

TSF : 上腕三頭筋皮下脂肪厚 (mm)

TFN : 血清トランスフェリン (mg/dl)

DCH : 遅延型皮膚過敏反応 (0 : 無反応, 1 : 5 mm 未満, 2 : 5 mm 以上)

50を超えると合併症発生率が大きいとされている。

〈文献〉

- 1) 小野寺時夫, 五関謹秀, 神前五郎. Stage 4・5 (5は大腸癌) 消化器癌の非治癒切除・姑息手術に対する TPN の適応と限界. 日外会誌 1984 ; 85 : 1001-5.
- 2) Buzby GP, Mullen JL, Matthews DC et al. Prognostic nutritional index in gastrointestinal surgery. Am J Surg 1980 ; 139 : 160-7.

(国立病院機構東埼玉病院 江頭有一) 本誌335p に記載